

技術士能力活用を

県支部設立し方針確認

宮崎市

日本技術士会の県支部（藤原秀志支部長・67人）設立式 人が参加し、今後の活動方針は24日、宮崎市のホテルメ を確認した。



日本技術士会県支部の設立式典であいさつをする藤原支部長

技術士は機械、繊維、農業、水産、環境などの科学技術に関する高度な能力を持つ技術者に与えられる国家資格。式典で藤原支部長が「防災・減災の支援活動に積極的に取り組むほか、地域の技術的課題に対応したい」とあいさつ。同支部の満

留康裕業務企画委員長は「社会資本整備の遅れなど課題解決には科学技術の応用能力を持つ技術士の役割は大きい」と指摘。その上で、今後の活動方針について、自治体や関係機関への技術支援や協力、産学連携、市民と一体型の防災・減災対策、同会九州本部との連携強化の充実を示した。

この後、宮崎大の原田隆典教授（地震工学）ら3人が、技術士の役割について講演した。

同会は技術士の認知度を高めるとともに、県内の技術士の能力向上を図ろうと、昨年11月に県支部を設立した。